

# 強い冬型の気圧配置により大雪や暴風等が見込まれた場合の

## 農林水産業用施設及び農産物等の管理対策

令和6年12月25日

新潟県農林水産部

毎年、強い冬型の気圧配置による大雪や暴風などが猛威を振るい、農林水産業用施設や農作物等に大きな影響を及ぼしております。

今年も既に一部の地域で大雪や暴風が発生しており、今後も強い冬型の気圧配置による荒天が懸念されることから、今後の気象情報に十分注意し、以下の農林水産業用施設等の管理対策を参考に、被害防止に努めてください。

なお、作業する際には安全を確保した上で行ってください。

### 1 農林水産業用施設の被害対策

- (1) 農林水産業用施設については、暴風や降雪による倒壊等が生じないように点検・補強を十分に行う。
- (2) かん水施設等が凍結しないよう、断熱材で覆うなど凍結防止対策を施す。  
※なだれ等による施設被害のおそれがある場合や、被害が発生した場合には、速やかに市町村または県関係機関に連絡してください。
- (3) 作付けのないハウスは可能な限りビニールを撤去する。

### 2 園芸全般

- (1)ハウスのビニールは、風雪に備えて破損部分の補修やマイカー線でたるみを直すなど、点検や補強を行う。
- (2)ハウス周囲の融雪溝や融雪パイプの点検等、施設周囲の除雪対策を行う。
- (3)積雪によりハウス屋根中央部が陥没しないよう、施設内に支柱を設ける等の補強を行う。
- (4)加温設備のあるハウスでは、暖房機の燃料を確保し、暖房機が正常に作動するか確認する。

### 3 野菜

- (1)露地野菜は降雪等により、茎葉に傷みが発生する場合がありますので、収穫可能なものは事前に収穫を行う。
- (2)小トンネルは、ひも等による補強や被覆資材のたわみがないよう点検する。

### 4 果樹

冠雪や暴風による倒木や枝折れを防ぐため、整枝せん定を早め実施するとともに、補強用の支柱を入れ、枝をロープなどでしっかり結束・固定しておく。日本なしとりんごで花粉採取のための枝を多めに残している園地では、特に入念に補強する。

## 5 畜産

- (1) 積雪による畜舎や家畜の事故防止を図るため、安全には十分に配慮した上で、早めの雪下ろし及び畜舎周辺の除雪に努める。また、強度に懸念のある畜舎やハウス等の簡易畜舎では、支柱を設ける等構造面の補強を行う。
- (2) 積雪に伴う物流の遅延などに備え、予め飼料、燃料、家畜の飲水などを十分に確保しておく。なお、家畜の飲水向け給水配管等は、加温などの凍結防止対策を行う。
- (3) 停電や断水に備えて自家発電機や暖房器具の準備・始動点検を行い、被災時には早急に対応できるよう、J Aや市町村等との連携体制を事前確認しておく。
- (4) 畜舎外壁を点検修繕し、すき間風は防いでおく。とくに、子畜には疾病予防のため、適切な換気に配慮しながら、防風及び保温に努める。
- (5) 野生イノシシにC S Fが発生した地域では、積雪による防護柵の破損や野生イノシシの柵の乗り越えに注意する。

## 6 きのこと

- (1) ハウス栽培で気温の低下が予想される場合は、生育障害を防ぐため、適切な温度・湿度管理に努める。
- (2) ハウスへの着雪・着氷が予想される場合は、排気管（煙突）や通気口等の保守に努め、排気口の塞がりによる施設内部への燃焼ガス流入や通気口の塞がりによる二酸化炭素濃度の上昇に注意する。
- (3) 滑落した雪による施設への側圧を軽減するため、散水ホース等を使用し消雪を促進する。
- (4) 使用していない水道管は水を抜くなどし、凍結防止対策を行う。

## 7 漁業全般

- (1) 早めに気象情報等を確認し、荒天が予想される場合は、出港の中止、以降の航海計画・出港予定の見直し等を行う。
- (2) 波や風の急変に注意するとともに、早めの帰港を心掛ける。
- (3) 荒天となる前に、漁船の破損や流出を防ぐため、係留ロープで確実に固定する。また、必要に応じて漁船の上架や船外機等の重量物を取り外す、シートで覆う等の対策を行う。
- (4) 施設や飼育池等の周囲、漁船の除雪にむけて、周囲を点検し、整備する。漁船は転覆を防ぐため、安全に十分配慮してこまめに除雪を行う。
- (5) 漁具や飼育池等の管理に十分注意し、厳重に警戒する。